

出雲市全体 業種別景況（令和5年1月～令和5年3月期）

《全業種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年10月～12月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				前年同期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				今期(令和5年1月～3月期)と比べた 来期(令和5年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上（完成工事・出荷）額	32.5	31.2	36.3	△ 3.8	44.6	31.8	23.6	21.0	26.9	46.2	26.9	0.0
2 採算（経常利益）	25.0	42.9	32.1	△ 7.1	33.8	40.1	26.1	7.6	18.6	56.4	25.0	△ 6.4
3 資金繰り	11.0	69.7	19.4	△ 8.4	16.1	65.8	18.1	△ 1.9	9.1	75.3	15.6	△ 6.5
4 従業員（含 臨時・パート）	7.0	80.4	12.6	△ 5.6	12.7	71.1	16.2	△ 3.5	14.2	75.9	9.9	4.3
5 商品（製品）在庫	10.9	76.8	12.3	△ 1.4	13.0	73.9	13.0	0.0	10.3	80.9	8.8	1.5
6 業況（自社）	17.9	57.7	24.4	△ 6.4	23.7	55.8	20.5	3.2	20.0	61.3	18.7	1.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	36.7	1.6	6.5	33.9	27.4	11.3	16.1	3.2	63.3
2 来期	40.6	1.4	7.0	40.8	18.3	8.5	21.1	2.8	59.4

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	30.3	3.4	12.1	9 金利負担の増加	0.7	2.0	1.6
2 新規参入業者の増加	0.7	1.4	4.8	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.8
3 単価の低下・上昇難	2.0	8.2	6.5	11 事業資金の借入難	1.3	0.7	1.6
4 材料（原材料）等の入手難	2.6	6.8	2.4	12 従業員の確保難	15.8	16.3	12.9
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	30.3	19.7	12.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	1.3	11.6	12.9
6 人件費の増加	3.9	13.6	8.1	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	1.3	5.4	2.4
7 仕入・人件費以外の経費の増加	7.9	10.2	16.1	15 その他	2.0	0.7	0.8
8 商品（製品）在庫の過剰	0.0	0.0	4.8				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

《建設業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年10月～12月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				前年同期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				今期(令和5年1月～3月期)と比べた 来期(令和5年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	30.4	47.8	21.7	8.7	21.7	52.2	26.1	△ 4.3	17.4	39.1	43.5	△ 26.1
2 採算(経常利益)	34.8	47.8	17.4	17.4	26.1	47.8	26.1	0.0	21.7	52.2	26.1	△ 4.3
3 資金繰り	4.3	87.0	8.7	△ 4.3	4.3	73.9	21.7	△ 17.4	8.7	82.6	8.7	0.0
4 従業員(含 臨時・パート)	8.7	82.6	8.7	0.0	30.4	52.2	17.4	13.0	30.4	60.9	8.7	21.7
5 商品(製品)在庫	6.3	87.5	6.3	0.0	0.0	93.8	6.3	△ 6.3	6.3	93.8	0.0	6.3
6 業況(自社)	13.0	69.6	17.4	△ 4.3	8.7	65.2	26.1	△ 17.4	8.7	69.6	21.7	△ 13.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	48.0	8.3	8.3	25.0	41.7	8.3	8.3	0.0	52.0
2 来期	44.4	0.0	8.3	41.7	25.0	0.0	25.0	0.0	55.6

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	39.1	5.0	5.6	9 金利負担の増加	0.0	5.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	5.6	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	0.0	0.0	5.6	11 事業資金の借入難	4.3	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	4.3	5.0	5.6	12 従業員の確保難	17.4	35.0	16.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	30.4	20.0	11.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	5.0	5.6
6 人件費の増加	4.3	10.0	22.2	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	5.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	10.0	22.2	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

・材料の高騰が以前の20～30%であるが、それがなかなか売上げに反映をしにくい。(元請さんに値引きせられた)

《 製 造 業 》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年10月～12月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				前年同期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				今期(令和5年1月～3月期)と比べた 来期(令和5年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	21.9	25.0	53.1	△ 31.3	43.8	25.0	31.3	12.5	18.8	59.4	21.9	△ 3.1
2 採算(経常利益)	21.9	37.5	40.6	△ 18.8	34.4	25.0	40.6	△ 6.3	12.5	62.5	25.0	△ 12.5
3 資金繰り	12.9	61.3	25.8	△ 12.9	19.4	54.8	25.8	△ 6.5	9.7	71.0	19.4	△ 9.7
4 従業員(含 臨時・パート)	13.6	77.3	9.1	4.5	13.6	72.7	13.6	0.0	9.1	77.3	13.6	△ 4.5
5 商品(製品)在庫	6.3	81.3	12.5	△ 6.3	3.1	75.0	21.9	△ 18.8	3.1	84.4	12.5	△ 9.4
6 業況(自社)	9.4	59.4	31.3	△ 21.9	28.1	37.5	34.4	△ 6.3	12.5	71.9	15.6	△ 3.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	51.4	0.0	5.3	52.6	15.8	10.5	15.8	0.0	48.6
2 来 期	57.5	0.0	13.0	52.2	4.3	13.0	13.0	4.3	42.5

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	37.5	0.0	10.7	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	3.6
3 単価の低下・上昇難	0.0	12.5	3.6	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	3.6
4 材料(原材料)等の入手難	3.1	18.8	3.6	12 従業員の確保難	12.5	15.6	14.3
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	18.8	25.0	10.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	6.3	7.1
6 人件費の増加	12.5	3.1	3.6	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	9.4	15.6	32.1	15 その他	6.3	3.1	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	7.1				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・コロナ、物価高の影響により、入手難に加え価格も月単位で上昇しており、価格転嫁も遅れ気味で採算性は悪化傾向にある。現状、喫緊の課題として受注集中時において、自社工場では手狭であり、貸工場等を探してはいるが好条件の物件確保が難しい状況。
- ・工場なので電気代の上がり幅がひどい
- ・太陽光関連の業種であるが、生活用品、食品等の高騰にて需要の優先順位からみたら非常に低くなり、余り客が関心をもたなくなっているため低調となっている。(生活必需品ではない)
- ・資材について、ここ1年強で3度目の値上げになるなど、歯止めがかからない。
- ・コロナが落ち着いて利益が出た分が、光熱費上昇と資材値上げでほぼ相殺されている。
- ・引き合いが多く受注が増えています。新規の取引も増えました。包材、調味料等の値上げが止まりません。
- ・電気代の上昇が大きく利益を圧迫した。
- ・R5.1～3月は生産用設備販売が大きく売上増加となった。
- ・ペットボトルの製品は変わらず好調でしたが、瓶の商品は年々売上の減少している。

《卸 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年10月～12月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				前年同期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				今期(令和5年1月～3月期)と比べた 来期(令和5年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	37.5	31.3	31.3	6.3	43.8	31.3	25.0	18.8	31.3	56.3	12.5	18.8
2 採算(経常利益)	33.3	46.7	20.0	13.3	25.0	50.0	25.0	0.0	18.8	62.5	18.8	0.0
3 資金繰り	12.5	68.8	18.8	△ 6.3	12.5	81.3	6.3	6.3	6.3	93.8	0.0	6.3
4 従業員(含 臨時・パート)	0.0	87.5	12.5	△ 12.5	6.3	68.8	25.0	△ 18.8	12.5	75.0	12.5	0.0
5 商品(製品)在庫	12.5	68.8	18.8	△ 6.3	18.8	62.5	18.8	0.0	6.3	81.3	12.5	△ 6.3
6 業況(自社)	25.0	56.3	18.8	6.3	18.8	62.5	18.8	0.0	25.0	62.5	12.5	12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した								実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他		
1 今 期	18.8	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	81.3
2 来 期	12.5	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	87.5

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	26.7	13.3	0.0	9 金利負担の増加	0.0	6.7	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	0.0	0.0	8.3	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	6.7	0.0	0.0	12 従業員の確保難	20.0	13.3	16.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	40.0	26.7	16.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	0.0	8.3
6 人件費の増加	0.0	13.3	8.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	13.3	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	6.7	13.3	8.3	15 その他	0.0	0.0	8.3
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	25.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・牧草等の価格上昇。得意先へ転嫁する事が出来ない
- ・支払(売掛金)も不安定になり、資金の計画がたちにくく、粗利が悪化した。
- ・土産品卸、治療院共に好転。しかし、電気代(地域創生電気)等、価格上昇の影響大。

《小 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年10月～12月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				前年同期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				今期(令和5年1月～3月期)と比べた 来期(令和5年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	35.0	30.0	35.0	0.0	35.0	40.0	25.0	10.0	20.5	48.7	30.8	△ 10.3
2 採算(経常利益)	22.5	42.5	35.0	△ 12.5	32.5	47.5	20.0	12.5	15.4	53.8	30.8	△ 15.4
3 資金繰り	12.5	60.0	27.5	△ 15.0	12.5	67.5	20.0	△ 7.5	5.1	71.8	23.1	△ 17.9
4 従業員(含 臨時・パート)	5.4	86.5	8.1	△ 2.7	5.6	83.3	11.1	△ 5.6	8.6	88.6	2.9	5.7
5 商品(製品)在庫	15.4	69.2	15.4	0.0	23.1	66.7	10.3	12.8	13.5	75.7	10.8	2.7
6 業況(自社)	20.5	59.0	20.5	0.0	17.9	66.7	15.4	2.6	23.7	57.9	18.4	5.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	26.8	0.0	9.1	27.3	27.3	9.1	18.2	9.1	73.2
2 来 期	31.7	0.0	7.7	23.1	23.1	15.4	30.8	0.0	68.3

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	34.2	5.3	22.6	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	2.6	2.6	6.5	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.6	7.9	9.7	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	7.9	3.2	12 従業員の確保難	13.2	5.3	6.5
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	28.9	18.4	9.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.6	15.8	12.9
6 人件費の増加	0.0	15.8	9.7	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	5.3	13.2	9.7
7 仕入・人件費以外の経費の増加	7.9	7.9	6.5	15 そ の 他	2.6	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	3.2				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・物価高の影響で4月から商品の値上げをしたため、客足がややおちこんでいる。
- ・仕入商品の運送費増が負担になっている。
- ・高齢で私が認知症の人間を看ながらの経営は限界をこえている
- ・仕入高で、売価を高くして売上高は増加したが、実際は微増です
- ・前期がコロナの為、売り上げ減となっており、昨年対比ではアップとなりましたが、まだまだコロナ以前にはもどっていない感があります
- ・レンタカー事業が好調です。
- ・コロナが収束のきざしが見え、各種イベントやお出かけが出来つつあり、少しづつ衣類が必要となって来ると思います。
新しい気持ちとファッションで皆様が明るく生活していただける様努力したいと思います。
- ・観光バスがにぎやかに走り廻らないと衣料品は売れない。
- ・IT時代年令的に解らないことが多すぎて、もっと手軽に質問でき教えていただきたい

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年10月～12月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				前年同期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和5年1月～3月期)の状況				今期(令和5年1月～3月期)と比べた 来期(令和5年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	37.0	28.3	34.8	2.2	65.2	19.6	15.2	50.0	41.3	34.8	23.9	17.4
2 採算(経常利益)	21.7	43.5	34.8	△ 13.0	41.3	37.0	21.7	19.6	23.9	54.3	21.7	2.2
3 資金繰り	11.1	75.6	13.3	△ 2.2	24.4	62.2	13.3	11.1	13.3	71.1	15.6	△ 2.2
4 従業員(含臨時・パート)	6.7	73.3	20.0	△ 13.3	11.1	71.1	17.8	△ 6.7	13.3	73.3	13.3	0.0
5 商品(製品)在庫	11.4	80.0	8.6	2.9	14.3	77.1	8.6	5.7	17.1	77.1	5.7	11.4
6 業況(自社)	21.7	50.0	28.3	△ 6.5	34.8	52.2	13.0	21.7	26.1	52.2	21.7	4.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画								実施・計画 していない
	した	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	34.0	0.0	5.9	29.4	23.5	17.6	17.6	5.9	66.0
2 来期	41.2	4.8	0.0	38.1	23.8	4.8	23.8	4.8	58.8

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	18.2	0.0	11.4	9 金利負担の増加	2.3	2.4	5.7
2 新規参入業者の増加	0.0	2.4	8.6	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.5	11.9	5.7	11 事業資金の借入難	2.3	2.4	2.9
4 材料(原材料)等の入手難	2.3	0.0	0.0	12 従業員の確保難	18.2	19.0	14.3
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	36.4	14.3	14.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.3	19.0	22.9
6 人件費の増加	2.3	21.4	2.9	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	11.4	7.1	11.4	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・旅行支援のおかげと思われる宿泊者の増加で売上げが元にもどりつつある。
- ・前年同期と比較し、微増の今期。コロナの感染者数は大幅に減少し、コロナ前の生活に戻りつつあるが、飲食業、特に料亭という形態がコロナ収束を実感できるのはいつのことになるのやら
- ・全国旅行支援の延長で宿泊者は増加しているが、電気代高騰で現状料金では採算が合わず4月より新料金（値上げ）を設定した。仮に感染症が収束してもコロナ禍以前の状況に戻るとは思えないので、慎重に運営していきたい。
- ・宿泊はコロナ前の水準になる。宴会はコロナ前の65%位。
- ・チラシを入れお客様を呼び込もうとしましたが、まだまだコロナ前の集客を見込めない状況です。
- ・コロナの影響は徐々に回復しつつある
- ・電気代や灯油代などエネルギーコストの高騰による販管費の上昇が利益面において大きな影響を受けています。
- ・GWの人があふれる季節にやっと当方に需要が出るが（観光の）最近ビジネス客が使用することが目立ちます。何でもいから仕事があるのはうれしい。